

「がん検診 早めに」

がん患者らが闘病経験を語り合うトークショーが21日、松前町筒井の商業施設「エミフルMASAKI」であった。元バンドマンの有田雅也さん(36)と松山市には「がんが見つかったから、励ましてくれたり支えてくれる友達のありがたさに気がついた」などと話し、がん検診の大切さを訴えた。

【黒川優】

アマチュアのロックバンド「FINE CHOP」を切り、同11月に胃の3分の2の元ボーカルの有田さんは、今年5月、長女(7)と長男(5)に「自分の生き

がんについて話す(左から)松本陽子さん、藤川初美さん、有田雅也さん、鎌田哲雄さん—松前町筒井のエミフルMASAKIで



松前でトークショー 元バンドマン・有田さんら闘病語る

さまを見せるために」、再結成ライブを開き、成功させた。有田さんは「もっと早く病院に行っていたら、という思いはある。けれど、がんになってから、周りの人の愛情に気がつくようになった」と話した。

がん患者の心のケアをすすめる「ピアサポーター」、藤川初美さん(58)と、県中小企業家同友会の鎌田哲雄さん(58)も登壇。共に闘病中で、「当たり前と思っていた日常が大事だと気付いた」などと振り返った。3人は最後に「がん検診は必ずこまめに受けてほしい」と、集まった約80人に呼び掛けた。

主催したNPO法人「わたしのがんnet」は、がん治療に限らず、心のケアや家族の相談などに応じる「がん相談支援センター」を紹介。四国がんセンターや県立中央病院などに設置されている。

トークショーを聞いた松山市生石町、会社員、小島大輔さん(38)は「今後がん患者と接するときのための勉強になった」と話した。